



「東郷学園義務教育学校の東郷土人形伝承活動の取組」

1. 学校名	薩摩川内市立東郷学園義務教育学校
2. 学年・人数	4年生 計47人
3. 日時・場所	令和6年5月23日(木) 図工室・美術室 6月18日(火) 図工室・美術室 6月27日(木) 図工室・美術室
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能、伝統 行事、伝統工芸 品について	<p>(1) 名称 東郷土人形（とうごうつちにんぎょう）</p> <p>(2) 由来 戸木田伊助氏らが東郷でとれた粘土を使って、明治の初め頃から作り始めた。人形作りが盛んな頃は、東郷町舟倉に人形専門店が2～3軒あり、2月には人形市が開かれていた。作品としては、菅原道真公、庶民のささやかな安全や幸福・五穀豊穡や商売繁盛を願う恵比寿様や大黒様、縁起物・節句物・歌舞伎役者等、およそ50種類の人形が作られていた。</p> <p>(3) 構成等 空気を抜き、適度に柔らかい粘土を作る。粘土を二つに分けた型枠に入れ、指で押して型にしっかりとつける。同じ方法で一方の型に粘土をつける。二つの型枠から外した粘土を合わせる。乾燥させ、胡粉をぬり、絵付けを行い完成となる。</p>
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	<p>4年生のふるさと・コミュニケーション科「東郷地域の伝統芸能の継承」の一つとして位置付け、制作活動に取り組んでいる。完成した作品は、3月に行われる「おのぶっ祭」に展示し、参加した方々に鑑賞していただいている。制作活動では、現存する東郷土人形の型枠等の道具を使い、可能な限り当時に近い作り方で指導を受けており、子供たちは数種類の型枠の中から好きな型を選択し、自由に彩色しながら、楽しく制作に取り組んでいる。東郷地域では、希望する保護者や児童生徒を対象に公民館講座の一環として「土人形作り」を開設し、地域住民の興味関心を高めることに努めている。</p>
6. 取組の様子 (練習状況、発 表の場等)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>型入れの準備作業</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>胡粉付けをする作業</p> </div> </div>
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	<p>【参加児童】</p> <p>白塗りで上から下に筆で書くとよいということをアドバイスしてくださいました。僕が土人形作りで学んだことは、地域の方々が土人形を大事に受け継いでくださったからこそ、東郷って素晴らしいのだということに気付いたことです。ぼくはもっと土人形について調べてみたいと思いました。</p>